

2021年4月13日

報道関係者各位

株式会社アイデミー
慶應義塾大学

アイデミー、慶應義塾大学が組織のDXレベルについて共同研究を実施 —経団連、産総研の協力を得てDX簡易組織診断を行うWEBサイトを公開—

株式会社アイデミー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 石川聡彦、以下「アイデミー」)および慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(横浜市港北区、研究科委員長 西村秀和、以下「慶應 SDM」)は、一般社団法人 日本経済団体連合会(本社:東京都千代田区、会長 中西宏明、以下「経団連」)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(本部:東京都千代田区、理事長 石村和彦、以下「産総研」)の協力を得て、組織のDX推進レベルを簡易的に診断することができるウェブアプリケーション「DX簡易組織診断」をリリースいたしました。4者の緊密な連携により、企業がDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する上で参考となる「組織のDX推進レベル」を、他社と相対比較した結果で知ることができます。

【背景】



昨今、多くの企業でDX推進の取り組みが行われ、自らどのようにSociety 5.0の時代を切り拓いていくか、未知への挑戦が求められています。そして、コロナ禍での環境変化が日本企業のDXを後押しして

いる状況が伺えます。

しかし、デジタルによる変革については、誰もが産業構造や各組織の変革の必要性を唱えるものの、総論賛成・各論反対の状況も垣間見えます。その結果、具体的な取り組みとしては遅々として進まないのが実情です。

アイデミーは、Society 5.0 の達成に取り組む東大発のスタートアップとして、「企業の AI 内製化支援・DX 支援」に取り組んでいます。特に、DX/AI に係る人材育成、組織変革の支援に注力しています。

慶應 SDM は、ものごとを俯瞰的かつ体系的に捉えるシステム思考と、ものごとを人間中心で考えて多様性を活かして新価値を創造するデザイン思考を融合したシステム×デザイン思考の研究・教育を実施するとともに、その実社会への実装を行っています。

経団連は、昨年 5 月 19 日、提言「Digital Transformation (DX) ～価値の協創で未来をひらく」を公表しました。この中で、創造的な新たな社会 Society 5.0 の実現に向けて、DX を通じた産業全体や企業の構造変革の必要性を訴えています。

産総研は、人工知能技術コンソーシアムを通してデータ活用の手法・技術の勉強会を実施し、産総研技術の最新動向を共有するなど、データ活用の知識やノウハウ、最新情報の獲得を促進させ、データ活用力を強化し DX の推進を目指しています。

以上 4 者が互いの強みを最大限に活かし、DX に取り組む企業の組織変革の具体的な取り組みへのきっかけを、DX 簡易組織診断のウェブアプリケーションを通じて支援致します。これにより、自社の DX 推進の状況が他社と比較してどの位置にあるか、相対比較した 6 段階(A～F)のレベルで診断結果が表示されることで、今後の取り組みのヒントとなります。

【概要】

DX 簡易組織診断は、経団連が発表した「協創 DX 指標」の人材と組織の領域を基に、経団連会員に対して行ったアンケート結果から構築しました。診断結果は、DX 推進度の進捗を相対比較するものであり、他企業と比べた際の DX 推進レベルの確認を目的としたものです。

今回は人工知能技術の一つである、「ベイジアンネットワーク」によりモデルを構築しています。ベイジアンネットワークは、データから、そのデータによく適合する確率分布を推定する技術です。推定した確率分布を用いて、背後に隠れた関係があるデータ同士をつなぎ、ある事柄を予測することなどができます。産総研の人工知能技術コンソーシアムを通して産総研が開発した人工知能技術 PLASMA および POSEIDON を活用し、本組織診断モデルは構築されています。

質問は全部で 28 問あり、前述した経団連の「協創 DX 指標」の人材・組織領域の内容を基に構成されており、構築したベイジアンネットワークのモデルを基にアンケートの回答結果から他企業と比較した DX 推進度合いの推測結果が表示される仕組みとなっています。

【詳細】

DX 簡易組織診断の WEB サイトは、以下からご覧ください。

<https://aitec-srv.jp/static/DXAnalytics/top.html>

【株式会社アイデミー】

株式会社アイデミーは「先端技術を、経済実装する。」を企業理念とする、2014年創業のベンチャー企業です。2017年12月に「10秒で始めるAIプログラミング学習サービス Aidemy」をリリースし、登録ユーザー数は10万人を超える日本最大級のAI学習オンラインサービスとなりました。

現在では個人向けサービスに留まらず、企業のAIプロジェクト内製化に向け、人材育成から事業定義・試作品開発・実運用まで一気通貫でご支援しております。

【慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(慶應SDM)】

慶應SDMは、ものごとを俯瞰的かつ体系的に捉えるシステム思考と、ものごとを人間中心で考えて多様性を活かして新価値を創造するデザイン思考を融合したシステム×デザイン思考の研究・教育を実施するとともに、その実社会への実装を行っています。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、各社科学部等に送信させていただいております。

※本リリースは慶應義塾大学、株式会社アイデミー、日本経済団体連合会が共同で配信しております。重複して配信されることがありますが、ご了承願います。

【本発表資料の配信元】

株式会社アイデミー

広報担当 関島・高野

TEL:03-6868-0998 (平日 10:00-18:00) Email:support@aidemy.co.jp <https://aidemy.co.jp/>

慶應義塾広報室(並木)

TEL:03-5427-1541 Email:m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>

【本研究内容に関するお問合せ先】

株式会社アイデミー

本件お問い合わせ窓口

TEL:03-6868-0998 (平日 10:00-18:00) Email:info-dx@aidemy.co.jp

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

教授 白坂 成功

Email:shirasaka@sdm.keio.ac.jp